

- 1 AIの活用をはじめとする社会のDX化の進展に伴い、情報通信インフラは益々重要となっていくことを踏まえ、線路敷設基盤を含めた安心・安全なインフラの整備・維持にこれまで以上に努めるとともに、災害時や、通信機器やネットワークに故障や異常が発生した際にも被害を最小限に抑え、その影響を拡大させないための取組を充実させるなど、安定的に通信サービスが提供されるよう一層努めること。
- 2 2035年頃を目途とした固定電話サービスの円滑な移行について、本年4月から開始する先行実施エリアにおいて、利用者に対して丁寧な案内等を行うとともに、多角的な試行を実施し、課題の洗い出しを行うこと等により、利用者保護等に万全を期すこと。
- 3 IOWN等をはじめとした基盤的研究開発について、様々なパートナーとの機動的かつ柔軟な連携等を含め、積極的かつ継続的に推進していくとともに、官民で推進するワット・ビット連携を踏まえた、オール光ネットワークの社会実装に向けた取組を進めること。